

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月 31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 瑞穂福祉会

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	保育事業収入	136,526,570	135,271,380	1,255,190	
	経常経費寄附金収入	703	703	0	
	受取利息配当金収入	17,004	13,963	3,041	
	その他の収入	1,405,000	1,336,370	68,630	
	事業活動収入計 (1)	137,949,277	136,622,416	1,326,861	
	支出				
	人件費支出	95,302,240	95,017,193	285,047	
	事業費支出	18,755,280	18,010,705	744,575	
	事務費支出	13,550,004	12,760,718	789,286	
支払利息支出	64,600	64,600	0		
その他の支出	1,010,000	1,000,950	9,050		
事業活動支出計 (2)	128,682,124	126,854,166	1,827,958		
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	9,267,153	9,768,250	△501,097		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	2,720,000	2,720,000	0	
	固定資産取得支出	1,177,000	1,177,000	0	
施設整備等支出計 (5)	3,897,000	3,897,000	0		
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△3,897,000	△3,897,000	0		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	37,175	37,175	0	
	その他の活動による収入	0	17,333	△17,333	
	その他の活動収入計 (7)	37,175	54,508	△17,333	
	支出				
積立資産支出	5,407,328	5,407,328	0		
その他の活動支出計 (8)	5,407,328	5,407,328	0		
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△5,370,153	△5,352,820	△17,333		
予備費支出 (10)	0	-	0		
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	518,430	△518,430		
前期末支払資金残高 (12)	33,146,197	33,146,197	0		
当期末支払資金残高 (11)+(12)	33,146,197	33,664,627	△518,430		

法人単位事業活動計算書

(自) 令和 3年 4月 1日 (至) 令和 4年 3月 31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 瑞徳福祉会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収	保育事業収益	135,271,380	131,929,718	3,341,662
		経常経費寄附金収益	703	0	703
		その他の収益	64,165	58,654	5,511
		サービス活動収益計(1)	135,336,248	131,988,372	3,347,876
	費	人件費	95,155,566	97,348,717	△2,193,151
		事業費	18,010,705	17,044,904	965,801
		事務費	12,760,718	13,057,377	△296,659
		減価償却費	6,154,224	7,128,815	△974,591
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△2,826,655	△3,010,582	183,927
		その他の費用	64,165	53,641	10,524
	サービス活動費用計(2)	129,318,723	131,622,872	△2,304,149	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	6,017,525	365,500	5,652,025	
サービス活動外増減の部	収	受取利息配当金収益	13,963	16,605	△2,642
		その他のサービス活動外収益	1,336,370	1,065,565	270,805
		サービス活動外収益計(4)	1,350,333	1,082,170	268,163
	費	支払利息	64,600	91,800	△27,200
		その他のサービス活動外費用	1,000,950	1,002,975	△2,025
		サービス活動外費用計(5)	1,065,550	1,094,775	△29,225
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	284,783	△12,605	297,388	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	6,302,308	352,895	5,949,413	
特別増減の部	収	施設整備等補助金収益	0	306,513	△306,513
		特別収益計(8)	0	306,513	△306,513
	費	固定資産売却損・処分損	130,616	5,042	125,574
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	306,513	△306,513
		特別費用計(9)	130,616	311,555	△180,939
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△130,616	△5,042	△125,574	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	6,171,692	347,853	5,823,839	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	98,458,925	98,111,072	347,853
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	104,630,617	98,458,925	6,171,692
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	4,640,000	0	4,640,000
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	99,990,617	98,458,925	1,531,692

法人単位貸借対照表

令和 4年 3月 31日 現在

社会福祉法人名 社会福祉法人 瑞穂福祉会

(単位：円)

	資 産 の 部			負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減
流動資産				流動負債	13,060,293	200,704
現金預金	38,661,064	37,350,150	1,310,914	事業未払金	4,080,161	142,656
事業未収金	31,136,298	30,792,226	344,072	その他の未払金	660,000	660,000
未収金	324,810	367,090	△42,280	1年以内返済予定設備資金借入金	2,720,000	0
未収補助金	344,755	72,700	272,055	預り金	3,063	3,063
未収補助金	6,479,700	5,847,196	632,504	職員預り金	253,213	△13,235
前払金	204,637	14,642	189,995	賞与引当金	5,544,560	△591,780
前払費用	170,864	256,296	△85,432	固定負債	9,853,524	△2,054,012
固定資産	299,092,198	298,911,383	180,815	設備資金借入金	2,040,000	△2,720,000
基本財産	189,097,648	193,409,746	△4,312,098	退職給付引当金	7,813,524	665,988
土地	108,650,879	108,650,879	0	負債の部合計	23,114,521	△1,853,308
建物	80,446,769	84,758,867	△4,312,098			
その他の固定資産	109,994,550	105,501,637	4,492,913	純 資 産 の 部		
建物	2	27,187	△27,185	基本金	71,709,566	0
構築物	3,521,044	3,385,643	135,401	第1号基本金	65,228,250	0
車輻運搬具	2	6,585	△6,583	第3号基本金	6,481,316	0
器具及び備品	2,876,107	3,535,882	△659,775	国庫補助金等特別積立金	47,207,798	△2,826,655
ソフトウェア	0	237,600	△237,600	その他の積立金	95,730,760	4,640,000
退職給付引当資産	7,813,524	7,147,536	665,988	人件費積立金	23,000,000	0
人件費積立資産	23,000,000	23,000,000	0	保育所施設・設備整備積立金	72,730,760	4,640,000
保育所施設・設備整備積立資産	72,730,760	68,090,760	4,640,000	次期繰越活動増減差額	99,990,617	1,531,692
長期前払費用	23,111	40,444	△17,333	(うち当期活動増減差額)	6,171,692	5,823,839
その他の固定資産	30,000	30,000	0	純資産の部合計	314,638,741	3,345,037
資産の部合計	337,753,262	336,261,533	1,491,729	負債及び純資産の部合計	337,753,262	1,491,729

財産目録

令和 4年 3月 31日 現在

社会福祉法人 瑞穂福祉会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	現金手元有高	—	運転資金として	—	—	8,722
普通預金	宮崎第一信用金庫・宮崎銀行	—	運転資金として	—	—	31,127,876
			小計			31,136,298
事業未収金	宮崎市他	—	保育園利用者利用料、委託費	—	—	324,810
未収金	職員	—	給食費	—	—	344,755
未収補助金	宮崎市保育幼稚園課	—	市補助金	—	—	6,479,700
前払金	全国私立保育園連盟	—	保護者会活動総合保険他	—	—	204,637
前払費用	併福祉施設共済会	—	福祉施設総合保険	—	—	170,864
			流動資産合計			38,661,064
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(みずほ保育園)宮崎県宮崎市大塚町池ノ内1094番地	—	第2種社会福祉事業である、保育園施設等に使用している	—	—	45,281,900
	(みずほ保育園)宮崎県宮崎市大塚町池ノ内1093-2	—	第2種社会福祉事業である、保育園施設等に使用している	—	—	2,514,474
	(みずほ保育園)宮崎県宮崎市大塚町池ノ内1121-12	—	第2種社会福祉事業である、保育園施設等に使用している	—	—	20,622,217
	(みずほ保育園)宮崎県宮崎市大塚町池ノ内1121-13	—	第2種社会福祉事業である、保育園施設等に使用している	—	—	20,693,000
	(みずほ保育園)宮崎県宮崎市大塚町池ノ内1121-10	—	第2種社会福祉事業である、保育園施設等に使用している	—	—	19,539,288
			小計			108,650,879
建物	(みずほ保育園)宮崎県宮崎市大塚町池ノ内1094番地	2008年度	第2種社会福祉事業である、保育園施設等に使用している	132,623,906	55,414,955	77,208,951
	(みずほ保育園)宮崎県宮崎市大塚町池ノ内1094番地	2018年度	第2種社会福祉事業である、保育園施設等に使用している	3,480,000	242,182	3,237,818
			小計			80,446,769
			基本財産合計			189,097,648
(2) その他の固定資産						
建物	(みずほ保育園)宮崎県宮崎市大塚町池ノ内1094番地	1998年度	第2種社会福祉事業である、保育園施設等に使用している	214,200	214,199	1
	(みずほ保育園)宮崎県宮崎市大塚町池ノ内1094番地	2014年度	第2種社会福祉事業である、保育園施設等に使用している	208,980	208,979	1
			小計			2
構築物	くまさんジム 他23件	—	第2種社会福祉事業である、保育園施設等に使用している	20,727,965	17,206,921	3,521,044
車輛運搬具	お出かけ兼用遊覧車 他1件	—	第2種社会福祉事業である、保育園施設等に使用している	289,250	289,248	2
器具及び備品	ヤマハ発動機 他83件	—	第2種社会福祉事業である、保育園施設等に使用している	25,541,107	22,665,000	2,876,107
ソフトウェア	園児管理ソフト一式(ミマモリ)	—	第2種社会福祉事業である、保育園施設等に使用している	1,296,000	1,296,000	0
退職給付引当資産	宮崎県社会福祉協議会	—	退職共済掛金預け金	—	—	7,813,524
人件費積立資産	宮崎第一信用金庫・宮崎銀行	—	将来における人件費支出目的のために積立している定期預金	—	—	23,000,000
保育所施設・設備整備積立資産	宮崎第一信用金庫・宮崎銀行	—	将来における施設整備の目的のために積立している定期預金	—	—	72,730,760
長期前払費用	独立行政法人福祉医療機構	—	借入金保証料	—	—	23,111
その他の固定資産	宮崎第一信用金庫	—	出資金	30,000	0	30,000
			その他の固定資産合計			109,994,550
			固定資産合計			299,092,198
			資産合計			337,753,262
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	給食材料他	—		—	—	4,080,161
その他の未払金	フェンス工事	—		—	—	660,000
1年以内返済予定設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構	—		—	—	2,720,000
預り金	社労士 源泉所得税	—		—	—	3,063
職員預り金	社会保険料他	—		—	—	253,213
賞与引当金	常勤職員夏季賞与 当期帰属分	—		—	—	5,544,560
			流動負債合計			13,260,997
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構	—		—	—	2,040,000
退職給付引当金	宮崎県社会福祉協議会 退職共済掛金累計	—		—	—	7,813,524
			固定負債合計			9,853,524
			負債合計			23,114,521
			差引純資産			314,638,741

令和3年度 事業報告書（本部）

【評議員会】

定時評議員会

（1）開催日時及び開催場所

◎令和3年6月19日（土）新型コロナウイルス感染拡大防止のため決議の省略の方法により行う。

（2）決議事項

- 1号議案 定時評議員会を開催することの省略の件（承認評議員数 8名全員）
- 2号議案 令和2年度決算計算書類及び財産目録承認の件（承認評議員数 8名全員）
- 3号議案 理事7名、監事2名専任の件（承認評議員数 8名全員）

【評議員選任・解任委員会】

（1）開催日時及び場所

◎令和3年6月19日（土）新型コロナウイルス感染拡大防止のため決議の省略の方法により行う。

（2）決議事項

- 第1号議案 評議員選任・解任委員会を開催することの省略の件（承認評議員選任・解任委員 3名全員）
- 第2号議案 評議員 8名選任の件（承認評議員選任・解任委員 3名全員）

【理事会】

第1回

開催日時及び開催場所

◎令和3年5月15日（土）14時より、みずほ保育園2階ホールで行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため決議の省略の方法により行う。

決議事項

- 第1号議案 理事会を開催することの省略の件（承認理事 7名全員）
- 第2報議案 令和2年度事業報告・決算計算書類及び監査報告の件（承認理事 7名全員）
- 第3号議案 次期：理事・監事候補者推薦の件（承認理事 7名全員）
- 第4号議案 令和3年度定時評議員招集の件（承認理事 7名全員）
- 第5号議案 次期評議員選任・解任委員選定の件（承認理事 7名全員）
- 第6号議案 次期評議員候補者推薦の件（承認理事 7名全員）
- 第7号議案 評議員選任・解任委員召集の件（承認理事 7名全員）

- 第8号議案 経理規程一部改正の件（承認理事7名全員）
第9号議案 役員保険加入の件（承認理事7名全員）
第10号議案 その他

第2回

日 時 令和3年6月19日（土）13時30分～14時40分
場 所 みずほ保育園2階ホール

決議事項

- 第1号議案 理事長選定の件
第2号議案 その他

第3回

日 時 令和3年11月13日（土）10時00分～10時50分
場 所 みずほ保育園2階ホール

決議事項

- 第1号議案 フェンス工事の件
第2号議案 第一次補正予算（案）の件
第3号議案 その他

第4回

日 時 令和4年3月19日（土）10時00分～11時40分
場 所 みずほ保育園2階ホール

決議事項

- 第1号議案 第二次補正予算（案）の件
第2号議案 令和4年度事業計画（案）の件
第3号議案 令和4年度当初予算（案）の件
第4号議案 給与規程一部改訂（案）の件
第5号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改正（案）の件
第6号議案 経理規程一部改正（案）の件
第7号議案 園規則一部改正（案）の件
第8号議案 その他

令和3年度 事業報告（施設）

1. 保育園の運営

所在地 宮崎市大塚町池ノ内1094

定員 110名（充足率100%）

年度末職員数 25名（園長・主任保育士1名・副主任2名・保育士13名
・事務員1名・パート7名・育児休業中保育士1名）
4名（調理業務 食材発注・検収・購入・記録）
ウオクニ（株）委託）

2. 保育目標

子どもたちの生涯にわたる人間形成の基礎作りのため「現在をよく生き望ましい未来を創りだす力の基礎を養うこと。」を保育の目標とする。

3. 保育時間

<標準時間> 平日・土曜日 午前7時から午後6時

延長保育 午後6時から午後7時 ※土曜日は延長保育なし

<短時間> 平日・土曜日 午前8時半から午後4時半

延長保育 午前7時から午前8時半と午後4時半から午後6時

延長保育 午後6時から午後7時 ※土曜日は延長保育なし

4. 一時預かり

1ヶ月14回以内で保育園と保護者間の直接契約により実施。

保育時間 午前8時30分から午後5時まで（利用者：有）

5. 保育は改訂保育所保育指針に基づき全体的な計画を作成し、指導計画を立案、

デイリープログラム（おやつ、午睡等は必ず含まれる。）に従って、児童の養護と教育の一体化を図った。また、健やかな心身発達のため食育の推進を行った。

縦割り保育、交流保育など様々な保育形態の中から年齢を問わず、子ども同士の連帯感・一体感が見られ遊びの内容がより深まっていった。

・カブトムシの幼虫からの飼育、カタツムリやダンゴムシの誕生など子どもたちの発見や驚きを紙芝居として作成し各クラスで披露するなど、子どもたちの積極性が随所にみられるようになり、集大成として制作展を開催した。保護者にも「蜜」にならないよう長期間展示し、見ていただくことができた。

・新卒保育士を2年連続で採用し、新しい保育感を基本に園内研修、キャリアアップ研修にも参加し、保育の質の確保・向上に努めた。

・支援を要する子どものケース会議、保護者や他機関との連携も図っていった。

